

広島交響楽団 特別定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The Special Subscription Concert

指揮
アンドリス・ポーガ
Conductor: Andris Poga

ショスタコーヴィチ (没後50年)
ピアノ協奏曲第1番ハ短調作品35*

Shostakovich: Piano Concerto No.1 in C minor Op.35

チャイコフスキー
交響曲第5番ホ短調作品64

Tchaikovsky: Symphony No.5 in E minor Op.64

コンサートマスター: 三上亮、北田千尋
Concertmaster: Ryo Mikami, Chihiro Kitada

トランペット
児玉隼人*

Trumpet: Hayato Kodama

ピアノ
角野隼斗

Piano: Hayato Sumino

2025.6.21(土) 15:00開演
[14:00開場]

Saturday June 21, 2025 Start 15:00 [Open 14:00]

広島国際会議場フェニックスホール
Phoenix Hall Hiroshima



被爆80周年

Piece of Peace
平和のかけら



被爆80周年



U3しあ国際平和文化祭
HIROSHIMA FESTIVAL



花と緑と音楽の
おもてなし



チケット料金 / S席: 12,000円・A席: 9,000円 ※小・中・高校生はS・Aとも半額

チケット発売日 / 2025年4月21日(月)

プレイガイド/ローソンチケット(Lコード: 62920)、チケットぴあ(Pコード: 289-302)、広島webチケット、広島事務局

被爆80周年 酒井茜 & 広響室内楽コンサート ~ 明子さんのピアノとともに ~



広響平和音楽大使マルタ・アルゲリッチが推薦するピアニスト酒井茜が
広島のためにプロデュース。広響メンバーとともに平和への想いを捧げる。

日時 2025年6月22日(日) 15:00開演 [14:30開場]

会場 JMSアステールプラザ オーケストラ等練習場

ピアノ: 酒井茜 ヴァイオリン: 北田千尋 ヴィオラ: 安保恵麻
チェロ: マーティン・スタンツェライト フルート: 森川公美
クラリネット: 高尾哲也



●入場料(税込・全席自由) / 一般: 2,000円 6/21のチケットをご購入の方は割引料金1,000円

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主催 / 広島市、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 / 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan
| 独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛 / 巢守金属工業株式会社

特別協賛 / Energin 中国電力 ひろぎんHD
未来を、ひろげる。

後援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、
中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、
広島エフエム放送、ちゅぴCOM、月刊ウェンディ出版局

お問い合わせ 広島事務局 TEL: 082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>



©Jānis Delnats

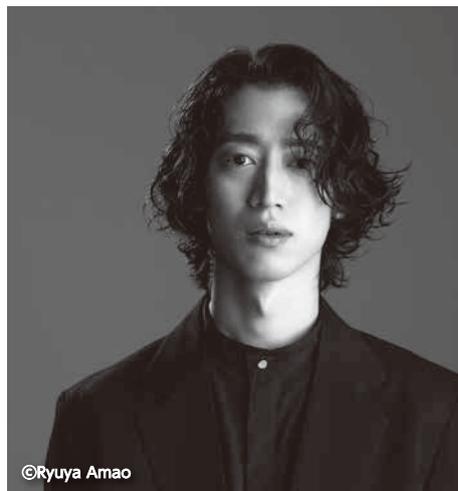
指揮: **アンドリス・ポーガ** Conductor : Andris Poga

アンドリス・ポーガは、ヤーセプス・ヴィートリス・ラトビア音楽院指揮科を卒業。ラトビア大学で哲学も学ぶ。その後、ウィーン国立音楽大学でウロシュ・ラコヴィッチに指揮を師事。またマリス・ヤンソンス、小澤征爾、レイフ・セーゲルスタム等のマスタークラスにも参加。2007年ラトビア音楽大賞を受賞、2010年モンペリエで開催されたエフゲニー・スヴェトラノフ国際指揮コンクールで優勝。「チャイコフスキーの交響曲第4番は、その雄大さ、豊かさが、20世紀の偉大なロシアの指揮者、ムラヴィンスキー、テミルカーノフ、ゲルギエフ、そして偉大なるマエストロ、スヴェトラノフを彷彿とさせる。限らない才能が満場一致で認められた」(プラスコヴァ・プラスコヴァアレ・トロワ・クー2010)と絶賛された。以来、パリ管弦楽団、NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団、ケルンWDR交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、チューリヒ・トーンハレ管弦楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、シドニー交響楽団、ダラス交響楽団、香港フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団等へ客演を重ねている。母国のラトビア国立交響楽団には20代の頃から定期的に招かれ、ベートーヴェン、ブラームス、マーラーの交響曲、ウェーバー、リヒャルト・シュトラウス、ヒンデミット、メシアン、ベルク等、数々の名演を残した。2013年からは同響の音楽監督に就任、国内はもちろんヨーロッパ各地へのツアーも成功させた。現在は芸術アドバイザーとして関係が続けている。その間、パリ管弦楽団、ボストン交響楽団でアシスタント・コンダクターも務め、パリではジョルジュ・プレートル、ミッコ・フランクの代役で、ボストンではショスタコーヴィチ交響曲第15番で定期演奏会にデビュー、大成功を収めた。現在はノルウェーのスタヴァンゲル交響楽団の首席指揮者。2024/25年シーズンはスタヴァンゲル、ラトビアでの定期演奏会に加え、フランス国立放送管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ハンブルク交響楽団、NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団、ケルンWDR交響楽団への再登場に加え、アイスランド交響楽団、デュッセルドルフ交響楽団等へデビューする。

ピアノ: **角野隼斗** Piano : Hayato Sumino

2018年、東京大学大学院在学中にピティナ特級グランプリ受賞。2021年、ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでにシカゴ響、ウィーン放送響、ポーランド国立放送響、ボストン・ポップス、N響、読響など、国内外のオーケストラと多数共演。2024年、日本武道館で単独公演を開催、同会場におけるピアニストの史上最多動員13,000人を記録。さらに、昨年はロイヤル・アルバート・ホール(ロンドン)、ラヴィニア音楽祭(アメリカ)、グシュタード・メニューイン音楽祭(スイス)、ラインガウ音楽祭(ドイツ)へのデビューを果たしたほか、パリ、シンガポール、ソウル、そして、2025年1月には自身最大の7都市を巡るEUツアーを開催。ベルリン・フィルハーモニーをはじめ、世界でのリサイタルを成功させるなど、国際的な知名度を急速に高めている。2025年11月には、カーネギーホール大ホールでのソロリサイタルデビューも予定されている。“Cateen(かていん)”名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数140万人超、再生回数は2億回を突破。2024年、Sony Classicalと契約を締結し、『Human Universe』をリリース。現在、ニューヨーク在住。CASIO電子楽器アンバサダー、スタインウェイアーティスト。

角野隼斗公式サイト: hayatosum.com



©Ryuya Amao

トランペット: **児玉隼人*** Trumpet : Hayato Kodama

2009年、北海道釧路市生まれ。5歳からホルネットを吹き始め、9歳から本格的にトランペットを始める。2024年、第39回日本管打楽器コンクールトランペット部門において、全部門での史上最年少で第1位、及び文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞。併せて特別大賞(内閣総理大臣賞)を受賞。その他にも、日本ジュニア管打楽器コンクール、日本クラシック音楽コンクール、大阪国際音楽コンクールなど、これまで10歳以降に出場したコンクールでは全て第1位及び最高位を受賞。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などと共演。

「EIGHT-JAM」「題名のない音楽会」「クラシックTV」「日曜日の初耳学」「スッキリ」「沼にハマってきいてみた」「芸能人格付けチェック」など、多くのテレビ番組に出演している。トランペットを松田次史、辻本憲一の両氏に師事。2024年度ヤマハ音楽支援制度奨学生。第7回服部真二音楽賞「Rising Star」を受賞。2025年2月に1stアルバム「Reverberate」をリリース。

児玉隼人公式サイト: hayatokodama.com



©Yuji Ueno